

「元気ですか〜?」「元気です!」

〜ヘルスプロモーションカーモデル実証プロジェクト基本合意書調印式〜



挨拶する越善村長

6月13日(水)、東通村保健福祉センター「福祉工房」において、『ヘルスプロモーションカーモデル実証プロジェクト』に関する4者(青森県三村伸吾知事、GEヘルスケア・ジャパ株式会社川上潤代表取締役兼CEO、東通村越善靖夫村長、東通地域医療センター川原田恒センター長)による基本合意書調印式が行われました。

本プロジェクトは、青森県の進める医療・健康・福祉(ライフ)関連分野における産業振興を目的とする「ライフイノベーション事業」の一環として実施されるもので、可搬式の超音波診断装置や心電計などの基本的な医療機器を積載した多機能小型カー(ヘルスプロモーションカー)の有効性を実証する、全国でも初めての取り組みですが、当村の進める包括ケアの活



抱負を語る川原田センター長

動が評価され、実証試験の実施場所選ばれました。

訪問診療や医師緊急派遣などの医療のみならず、健康診断支援や介護にも活用されるヘルスプロモーションカーは、導入予定時期が今秋を指しており、それまでにワークショップ等で具体的な運用方法の検討を重ね、さらに、実際の運用を通して、搭載機器の改善や新たな運用の可能性などを研究・実証していく予定です。

基本合意書調印式では、越善村長より「わが村でヘルスプロモーションカーの実証試験が行われることで、次代の基幹産業を創出する足がかりとなり、雇用促進、産業振興につながることを期待します。そして、住民が生涯にわたって健康で安心して生活するため、のほほやぶの里がいつそう連携し、一体



今秋導入予定のヘルスプロモーションカー

的な住民サービスを提供できるよう大いに期待します」と挨拶があり、また、川原田センター長より「ヘルスプロモーションカーはGEヘルスケア・ジャパが開発し、青森県から届けられる車ではありますが、中身を作るのは住民の方々であると思います。皆さんから色々なアイデアをいただいて、本当の意味でのヘルスプロモーションカーになるものと思いますので、皆さんと一緒に世界に誇れるよう語られました。

ヘルスプロモーションカーは住民が親しみやすく、呼びやすい『元気ですカー』の愛称が名づけられました。『元気ですカ



調印式の様子(左から川原田センター長、川上社長、三村知事、越善村長)

」が皆さんのそばに行き、「元気ですか?」と声がけし、いつか全員から「元気ですよ」と返事が返ってくる健康づくりを目指します。